

板橋区地域福祉に関するアンケート調査
調査報告書（速報版）

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的	3
2 調査の対象.....	3
3 調査の方法.....	3
4 調査の期間.....	3
5 回答結果.....	3
6 留意点.....	4
第2章 調査結果.....	5
1 あなたご自身のことについて	7
(1) 性別	7
(2) 年齢.....	7
(3) 家族構成.....	8
(4) 住まいの種類	8
(5) 就労・就学等	9
(6) 世帯年収.....	9
2 人とのつながりについて.....	10
(1) 孤独であると感じる頻度.....	10
3 相談に関する状況について.....	12
(1) 悩みや困りごとの相談先.....	12
(2) 現在の生活について相談したい内容.....	17
(3) 相談支援体制の充実に必要なこと.....	20
4 地域づくりについて	22
(1) 現在の近所との関わり方.....	22
(2) 望ましい近所との関わり方	24
(3) 地域とのつながりの必要性	26
(4) 地域活動やボランティア活動への参加状況	28
(5) 地域活動やボランティア活動に参加しなかった理由.....	30
(6) 今後参加したい地域活動やボランティア活動	32
5 日常生活の課題について	34
(1) 地域や日常生活における優先課題	34
(2) 地域保健福祉の推進に向けて強化してほしい取組み.....	36
6 ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）について.....	38
(1) 社会的排除の状態にある人の存在	38
(2) 社会的排除の状態にある人への支援に必要な取組み.....	39

7	外国人との共生について	40
	(1) 多様性と活力ある地域社会の実現に向けて行政に求めること	40
8	再犯防止に向けた取組みについて	42
	(1) 罪を犯した人への支援の必要性	42
	(2) 罪を犯した人の立ち直りに協力したいと思うか	43

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、現在「板橋区地域保健福祉計画 地域でつながるいたばし保健福祉プラン2025」（平成28年度～令和7年度）が目標年次に達することに伴い、次期計画の準備を進めている中で、地域福祉に関する区民の実態や意識、さまざまな取組み、意見等を把握し、今後の計画策定の基礎資料として活用するために実施しました。

2 調査の対象

調査の対象	配付数
板橋区内に住所を有する18歳以上の者（無作為抽出）	3,000件

3 調査の方法

郵送による配付、郵送又はWebフォームによる回答

4 調査の期間

令和6年7月31日（水）～8月21日（水）

5 回答結果

配付数	回答数			回答率
	合計			
	郵送	Webフォーム		
3,000件	711件	119件	830件	27.7%

6 留意点

- 回答結果の割合（％）は、回答数に対する選択肢ごとの割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合も、回答数に対する選択肢ごとの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- グラフや表において「n」とある場合、n数（number of case）であることを示し、その設問における集計対象者の総数、あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数を表しています。
- 「その他」や「無回答」など、回答から読み取れるものが少ない、又はないものについては、言及しないことがあります。
- 本文中の設問番号等について、報告書の便宜上、実際の調査票と異なる設定を行っている場合があります。
- 本文中の設問の文章や選択肢について、長いものは簡略化している場合があります。

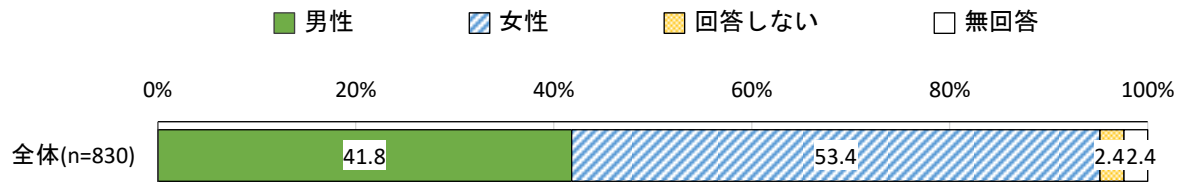
第2章 調査結果

1 あなたご自身のことについて

(1) 性別

ア あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)

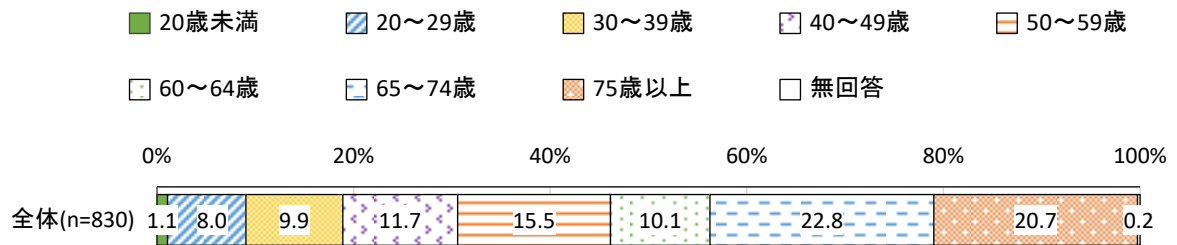
○性別は、「女性」が53.4%、「男性」が41.8%となっています。



(2) 年齢

イ あなたの年齢をお答えください。(令和6年7月1日現在) (〇は1つだけ)

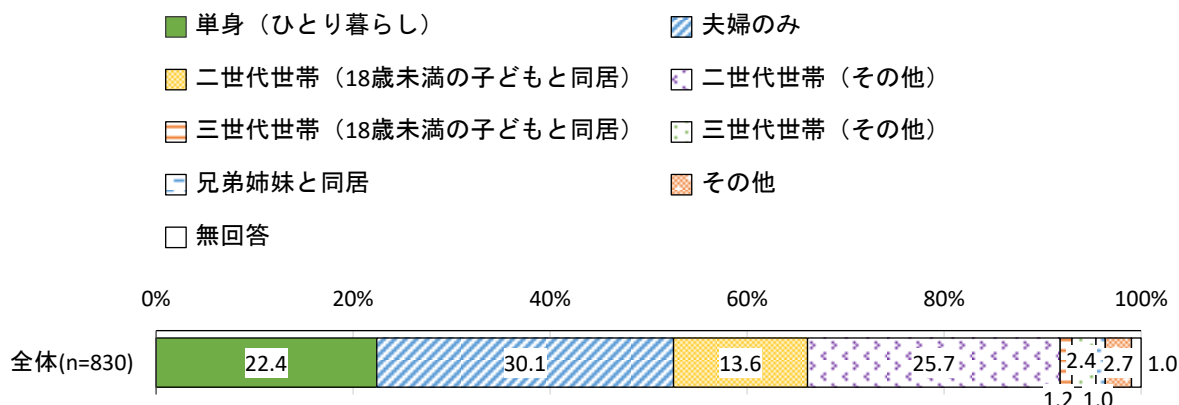
○年齢は、「65～74歳」が22.8%で最も多く、以下「75歳以上」が20.7%、「50～59歳」が15.5%、「40～49歳」が11.7%、「60～64歳」が10.1%、「30～39歳」が9.9%、「20～29歳」が8.0%、「20歳未満」が1.1%となっています。



(3) 家族構成

ウ あなたの家族構成は、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

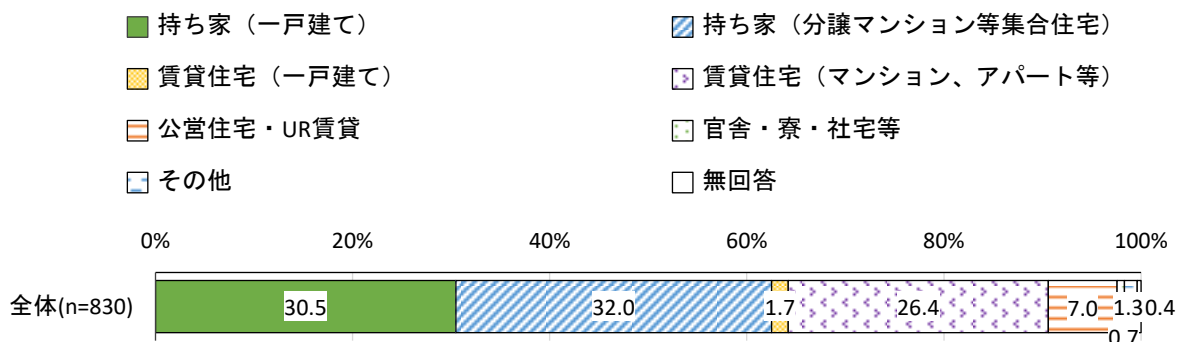
○家族構成は、「夫婦のみ」が30.1%で最も多く、以下「二世世代世帯（その他）」が25.7%、「単身（ひとり暮らし）」が22.4%、「二世世代世帯（18歳未満の子どもと同居）」が13.6%、「三世世代世帯（その他）」が2.4%、「三世世代世帯（18歳未満の子どもと同居）」が1.2%、「兄弟姉妹と同居」が1.0%となっています。



(4) 住まいの種類

キ お住まいは次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

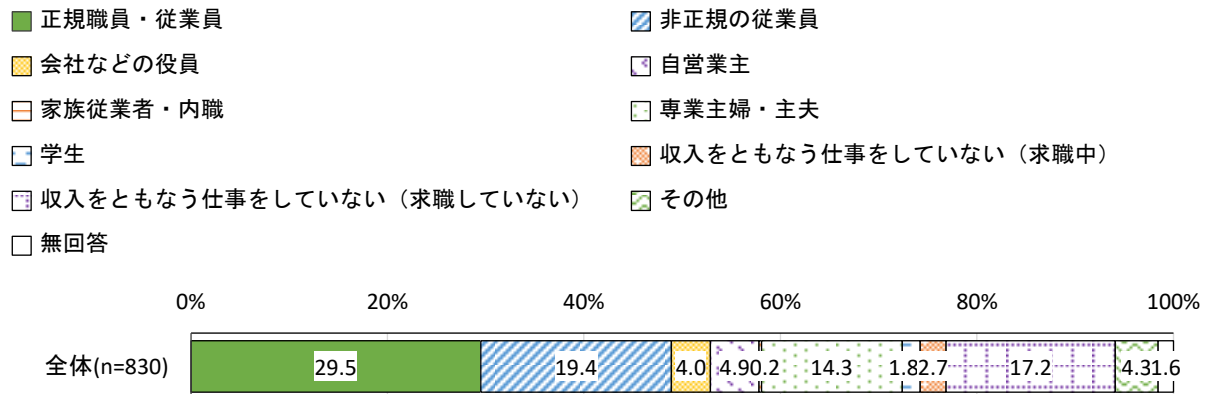
○住まいの種類は、「持ち家（分譲マンション等集合住宅）」が32.0%で最も多く、以下「持ち家（一戸建て）」が30.5%、「賃貸住宅（マンション、アパート等）」が26.4%、「公営住宅・UR賃貸」が7.0%、「賃貸住宅（一戸建て）」が1.7%、「その他」が1.3%、「官舎・寮・社宅等」が0.7%となっています。



(5) 就労・就学等

ク あなたの現在の就労・就学等の状況はどれになりますか。(〇は1つだけ)

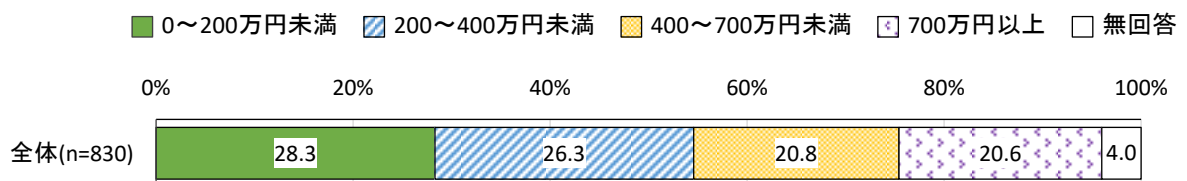
○就労・就学等は、「正規職員・従業員」が29.5%で最も多く、以下「非正規の従業員」が19.4%、「収入をとまなう仕事をしていない（求職していない）」が17.2%、「専業主婦・主夫」が14.3%、「自営業主」が4.9%、「会社などの役員」が4.0%、「収入をとまなう仕事をしていない（求職中）」が2.7%、「学生」が1.8%、「家族従業者・内職」が0.2%となっています。



(6) 世帯年収

ケ あなたの現在の世帯年収についてお答えください。(〇は1つだけ)

○世帯年収は、「0～200万円未満」が28.3%で最も多く、以下「200～400万円未満」が26.3%、「400～700万円未満」が20.8%、「700万円以上」が20.6%となっています。

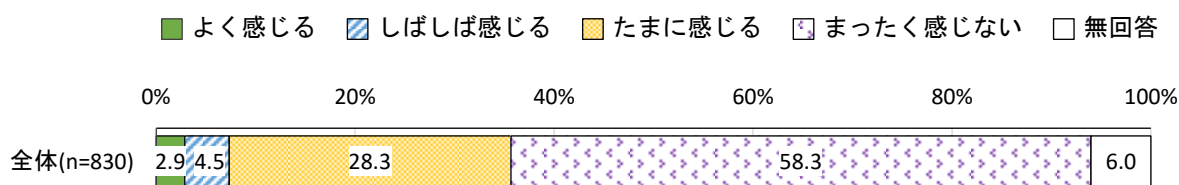


2 人とのつながりについて

(1) 孤独であると感じる頻度

問2 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(〇は1つだけ)

- 孤独であると感じる頻度は、「まったく感じない」が58.3%で最も多く、以下「たまに感じる」が28.3%、「しばしば感じる」が4.5%、「よく感じる」が2.9%となっています。
- 「よく感じる」から「たまに感じる」までを合わせた孤独を感じることもある人は35.7%、孤独を感じる頻度が高い人（よく感じる+しばしば感じる）は7.4%となっています。



- 性別でみると、男女ともに「まったく感じない」が過半数を占めています。孤独を感じる頻度が高い人は男性の方が多く、「たまに感じる」は女性の方が多くなっています。
- 年齢別でみると、「まったく感じない」は、年齢が高いほど多くなる傾向がみられ、逆に年齢が低いほど孤独を感じる頻度が高い人が多くなる傾向がみられます。

単位：%

		合計	よく感じる ①	しばしば感じる ②	たまに感じる ③	まったく感じない	無回答	孤独を感じる頻度 が高い①+②	孤独を感じるこ とがある①+②+③
性別	全体	830	2.9	4.5	28.3	58.3	6.0	7.4	35.7
	男性	347	2.9	5.8	23.3	62.8	5.2	8.7	32.0
	女性	443	2.7	3.2	32.3	55.5	6.3	5.9	38.2
	回答しない	20	10.0	5.0	25.0	50.0	10.0	15.0	40.0
年齢	20歳未満	9	11.1	11.1	22.2	44.4	11.1	22.2	44.4
	20～29歳	66	4.5	10.6	30.3	43.9	10.6	15.1	45.4
	30～39歳	82	2.4	7.3	31.7	51.2	7.3	9.7	41.4
	40～49歳	97	4.1	3.1	34.0	55.7	3.1	7.2	41.2
	50～59歳	129	2.3	3.9	29.5	56.6	7.8	6.2	35.8
	60～64歳	84	3.6	2.4	34.5	57.1	2.4	6.0	40.5
	65～74歳	189	2.1	2.1	24.3	65.6	5.8	4.2	28.5
	75歳以上	172	2.3	5.2	23.8	63.4	5.2	7.5	31.3

○家族構成でみると、「まったく感じない」は、単身（ひとり暮らし）を除いたすべての世帯で最も多く、過半数を占めています。一方、単身（ひとり暮らし）では「まったく感じない」は28.5%にとどまっており、孤独を感じることもある人が50.6%、孤独を感じる頻度が高い人が14.0%となっています。

○近所との関わり方でみると、近所との関わりが深いほど「まったく感じない」が多くなっており、親しく付き合っている人は73.1%を占めています。一方、近所との関わりが浅いほど「よく感じる」「しばしば感じる」「たまに感じる」が多くなっており、ほとんど付き合いがない人では、孤独を感じることもある人が50.3%、孤独を感じる頻度が高い人が17.4%となっています。

単位：％

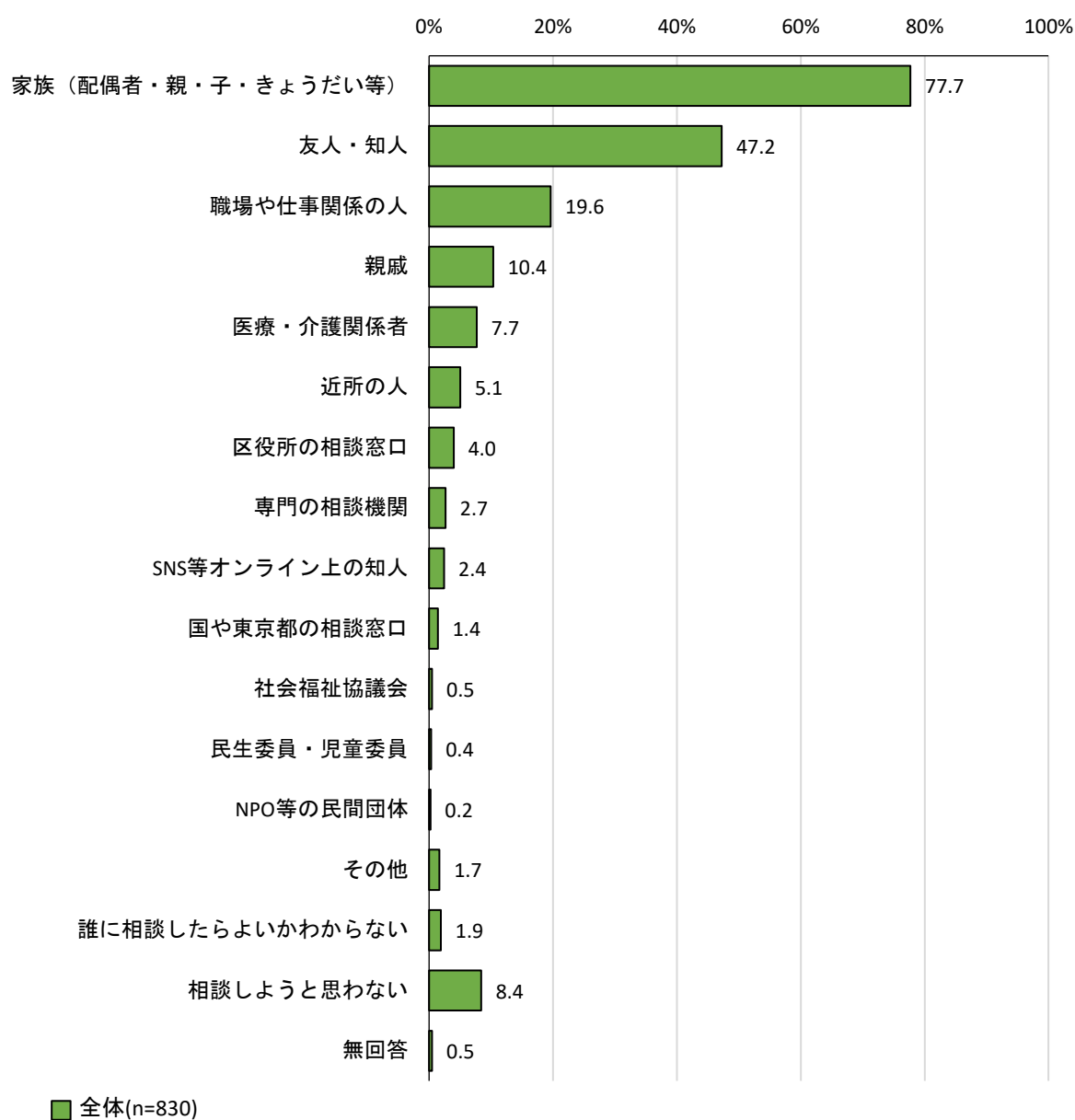
		合計	よく感じる ①	しばしば感じる ②	たまに感じる ③	まったく感じない	無回答	孤独を感じる頻度 が高い ①＋②	孤独を感じるこ とがある ①＋②＋③
全体		830	2.9	4.5	28.3	58.3	6.0	7.4	35.7
家族 構 成	単身（ひとり暮らし）	186	6.5	7.5	36.6	28.5	21.0	14.0	50.6
	夫婦のみ	250	1.6	2.0	23.2	70.8	2.4	3.6	26.8
	二世世代世帯（18歳未満の子どもと同居）	113	0.9	3.5	30.1	65.5	0.0	4.4	34.5
	二世世代世帯（その他）	213	2.8	3.3	31.0	62.0	0.9	6.1	37.1
	三世世代世帯（18歳未満の子どもと同居）	10	0.0	0.0	10.0	90.0	0.0	0.0	10.0
	三世世代世帯（その他）	20	0.0	5.0	5.0	85.0	5.0	5.0	10.0
	兄弟姉妹と同居	8	0.0	12.5	37.5	50.0	0.0	12.5	50.0
	その他	22	4.5	13.6	9.1	72.7	0.0	18.1	27.2
関 連 所 と 方	親しく付き合っている	67	0.0	0.0	23.9	73.1	3.0	0.0	23.9
	立ち話をする程度	186	1.6	2.2	26.9	65.1	4.3	3.8	30.7
	あいさつをする程度	405	2.2	3.7	27.7	60.7	5.7	5.9	33.6
	ほとんど付き合いがない	167	7.2	10.2	32.9	40.7	9.0	17.4	50.3

3 相談に関する状況について

(1) 悩みや困りごとの相談先

問3 あなたは悩みや困りごとをどなたに相談しますか。(〇はいくつでも)

〇悩みや困りごとの相談先は、「家族（配偶者・親・子・きょうだい等）」が77.7%で最も多く、以下「友人・知人」が47.2%、「職場や仕事関係の人」が19.6%、「親戚」が10.4%、「医療・介護関係者」が7.7%などとなっています。一方で、「相談しようと思わない」は8.4%となっています。



○年齢別でみると、「友人・知人」は、60歳代以降で次第に割合低くなり、75歳以上では約3割にとどまります。「職場や仕事関係の人」は50歳代までは年齢とともに割合が高くなり、40歳代以降は次第に低くなっています。

単位：％

		合計	家族（配偶者・親子・きょうだい等）	友人・知人	職場や仕事関係の人	親戚	医療・介護関係者	近所の人	区役所の相談窓口	専門の相談機関	SNS等オンライン上の知人
	全体	830	77.7	47.2	19.6	10.4	7.7	5.1	4.0	2.7	2.4
年齢	20歳未満	9	55.6	44.4	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	20～29歳	66	72.7	63.6	24.2	6.1	4.5	0.0	3.0	0.0	6.1
	30～39歳	82	75.6	59.8	35.4	4.9	6.1	1.2	0.0	4.9	9.8
	40～49歳	97	81.4	53.6	41.2	8.2	5.2	5.2	2.1	3.1	5.2
	50～59歳	129	78.3	48.1	30.2	6.2	7.8	3.1	5.4	2.3	0.0
	60～64歳	84	78.6	59.5	19.0	16.7	15.5	7.1	6.0	4.8	0.0
	65～74歳	189	79.4	42.3	9.5	11.6	6.9	6.3	5.8	3.2	0.5
	75歳以上	172	76.7	30.8	2.3	14.0	8.7	8.1	3.5	1.2	0.6

		合計	国や東京都の相談窓口	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	NPO等の民間団体	その他	誰に相談したらよいかわからない	相談しようと思わない	無回答
	全体	830	1.4	0.5	0.4	0.2	1.7	1.9	8.4	0.5
年齢	20歳未満	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1
	20～29歳	66	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	6.1	0.0
	30～39歳	82	1.2	0.0	0.0	0.0	1.2	2.4	11.0	1.2
	40～49歳	97	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.1	10.3	0.0
	50～59歳	129	3.1	0.8	0.8	0.8	2.3	0.8	11.6	0.0
	60～64歳	84	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	2.4	4.8	0.0
	65～74歳	189	1.6	0.5	0.0	0.5	2.1	1.6	5.8	0.5
	75歳以上	172	1.7	1.2	0.0	0.0	1.7	2.3	8.7	0.6

○単身（ひとり暮らし）の年齢別でみると、単身者全体では「家族（配偶者・親・子・きょうだい等）」と「友人・知人」の割合はいずれも5割台となっています。年齢別でみると、「家族（配偶者・親・子・きょうだい等）」は40歳代で6割台、「友人・知人」は20歳代で9割台とそれぞれ多くなっています。一方で、「相談しようと思わない」は30歳代及び40歳代で3割を超え、他年代と比べて割合が高くなっています。

単位：％

		合計	家族（配偶者・親・子・きょうだい等）	友人・知人	職場や仕事関係の人	親戚	医療・介護関係者	近所の人	区役所の相談窓口	専門の相談機関	S N S等オンライン上の知人
	全体	830	77.7	47.2	19.6	10.4	7.7	5.1	4.0	2.7	2.4
【単身（ひとり暮らし）】	全体	186	54.8	52.2	16.1	10.8	7.0	5.4	5.4	3.8	2.2
	20歳未満	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	17	58.8	94.1	29.4	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	11.8
	30～39歳	25	44.0	52.0	24.0	4.0	4.0	0.0	0.0	4.0	8.0
	40～49歳	16	62.5	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0
	50～59歳	27	59.3	48.1	22.2	7.4	7.4	0.0	7.4	7.4	0.0
	60～64歳	14	64.3	71.4	14.3	14.3	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0
	65～74歳	48	52.1	50.0	8.3	8.3	12.5	8.3	8.3	4.2	0.0
	75歳以上	36	55.6	36.1	2.8	13.9	8.3	13.9	5.6	2.8	0.0

		合計	国や東京都の相談窓口	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	N P O等の民間団体	その他	誰に相談したらよいかわからない	相談しようと思わない	無回答
	全体	830	1.4	0.5	0.4	0.2	1.7	1.9	8.4	0.5
【単身（ひとり暮らし）】	全体	186	1.6	1.1	0.5	0.5	1.1	4.8	14.5	1.1
	20歳未満	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	20～29歳	17	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0
	30～39歳	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	32.0	4.0
	40～49歳	16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3	0.0
	50～59歳	27	7.4	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	18.5	0.0
	60～64歳	14	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65～74歳	48	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	6.3	10.4	0.0
	75歳以上	36	2.8	2.8	0.0	0.0	2.8	11.1	11.1	0.0

○家族構成でみると、「家族（配偶者・親・子・きょうだい等）」は、単身（ひとり暮らし）で5割台にとどまっており、二世世代世帯や夫婦のみの世帯を大きく下回っています。

単位：％

		合計	家族 （配偶者・親・子・きょうだい等）	友人・知人	職場や仕事関係の人	親戚	医療・介護関係者	近所の人	区役所の相談窓口	専門の相談機関	SNS等オンライン上の知人
	全体	830	77.7	47.2	19.6	10.4	7.7	5.1	4.0	2.7	2.4
家族構成	単身（ひとり暮らし）	186	54.8	52.2	16.1	10.8	7.0	5.4	5.4	3.8	2.2
	夫婦のみ	250	87.6	39.6	14.0	11.2	7.2	4.8	3.2	2.0	1.2
	二世世代世帯（18歳未満の子どもと同居）	113	89.4	54.0	31.9	8.8	8.0	4.4	2.7	2.7	7.1
	二世世代世帯（その他）	213	79.8	49.3	23.5	8.9	8.5	5.6	4.7	1.9	1.9
	三世世代世帯（18歳未満の子どもと同居）	10	80.0	50.0	20.0	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	三世世代世帯（その他）	20	85.0	50.0	25.0	20.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0
	兄弟姉妹と同居	8	100.0	50.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	その他	22	59.1	36.4	18.2	0.0	9.1	0.0	4.5	4.5	4.5

		合計	国や東京都の相談窓口	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	NPO等の民間団体	その他	誰に相談したらよいかわからない	相談しようと思わない	無回答
	全体	830	1.4	0.5	0.4	0.2	1.7	1.9	8.4	0.5
家族構成	単身（ひとり暮らし）	186	1.6	1.1	0.5	0.5	1.1	4.8	14.5	1.1
	夫婦のみ	250	1.6	0.0	0.4	0.0	1.6	0.8	5.2	0.4
	二世世代世帯（18歳未満の子どもと同居）	113	0.9	0.0	0.0	0.0	1.8	0.9	4.4	0.0
	二世世代世帯（その他）	213	1.9	0.9	0.0	0.5	1.4	1.9	8.9	0.0
	三世世代世帯（18歳未満の子どもと同居）	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	三世世代世帯（その他）	20	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0
	兄弟姉妹と同居	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	22	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	0.0	18.2	0.0

○近所との関わり方でみると、「家族（配偶者・親・子・きょうだい等）」は、近所付き合いのある層でいずれも約8割ですが、近所付き合いがほとんどない人では6割にとどまっています。「友人・知人」についても、近所付き合いのない人で4割未満と低くなっています。

単位：％

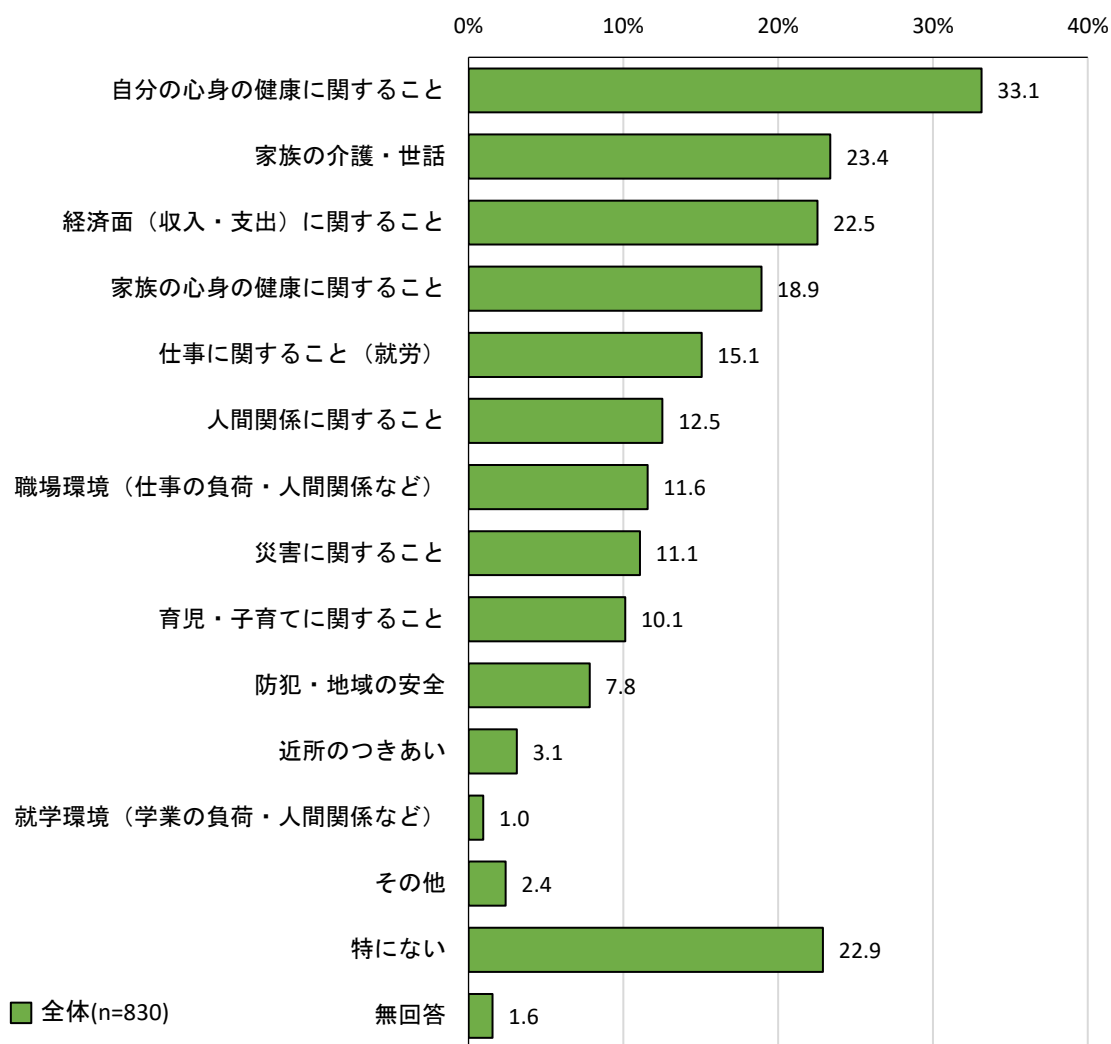
		合計	家族 (配偶者・親・子・きょうだい等)	友人・知人	職場や仕事関係の人	親戚	医療・介護関係者	近所の人	区役所の相談窓口	専門の相談機関	SNS等オンライン上の知人
	全体	830	77.7	47.2	19.6	10.4	7.7	5.1	4.0	2.7	2.4
関近 わ所 りとの 方の	親しく付き合っている	67	82.1	46.3	11.9	26.9	4.5	17.9	0.0	1.5	0.0
	立ち話をする程度	186	84.4	50.5	14.0	14.0	10.8	11.8	4.3	2.7	2.7
	あいさつをする程度	405	81.7	49.4	24.2	7.2	7.2	1.5	4.4	3.2	2.7
	ほとんど付き合いがない	167	60.5	39.5	18.6	7.2	6.6	1.2	3.6	1.8	2.4

		合計	国や東京都の相談窓口	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	NPO等の民間団体	その他	誰に相談したらよいかわからない	相談しようと思わない	無回答
	全体	830	1.4	0.5	0.4	0.2	1.7	1.9	8.4	0.5
関近 わ所 りとの 方の	親しく付き合っている	67	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	1.5	6.0	0.0
	立ち話をする程度	186	2.7	0.5	0.5	0.0	1.6	1.1	3.8	0.0
	あいさつをする程度	405	1.2	0.2	0.2	0.5	1.2	1.2	7.2	0.0
	ほとんど付き合いがない	167	1.2	1.2	0.6	0.0	1.8	4.8	18.0	0.6

(2) 現在の生活について相談したい内容

問4 あなたは、もし現在の生活について相談をしたらどのようなことを相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

○現在の生活について相談したい内容は、「自分の心身の健康に関すること」が33.1%で最も多く、以下「家族の介護・世話」が23.4%、「経済面（収入・支出）に関すること」が22.5%、「家族の心身の健康に関すること」が18.9%などとなっています。一方、「特にない」は22.9%となっています。



○年齢別でみると、「仕事に関すること（就労）」は20歳代で、「家族の介護・世話」は50歳代で、「自分の心身の健康に関すること」は60歳代以上の各年代で最も多く挙げられています。また、30歳代では「経済面（収入・支出）に関すること」と「仕事に関すること（就労）」が、40歳代では「自分の心身の健康に関すること」「育児・子育てに関すること」は同率で最上位となっています。

単位：％

		合計	自分の心身の健康に関すること	家族の介護・世話	経済面（収入・支出）に関すること	家族の心身の健康に関すること	仕事に関すること（就労）	人間関係に関すること	職場環境（仕事の負荷・人間関係など）	災害に関すること
全体		830	33.1	23.4	22.5	18.9	15.1	12.5	11.6	11.1
年齢	20歳未満	9	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	22.2	0.0	22.2
	20～29歳	66	24.2	12.1	31.8	7.6	40.9	27.3	19.7	6.1
	30～39歳	82	30.5	15.9	32.9	13.4	32.9	17.1	23.2	8.5
	40～49歳	97	32.0	23.7	27.8	19.6	24.7	24.7	23.7	13.4
	50～59歳	129	27.1	38.0	23.3	21.7	17.1	10.9	17.1	11.6
	60～64歳	84	38.1	28.6	26.2	28.6	11.9	8.3	11.9	10.7
	65～74歳	189	39.2	19.0	19.6	21.2	4.8	7.4	3.7	12.2
	75歳以上	172	35.5	23.3	11.6	16.3	2.9	6.4	1.2	10.5

		合計	育児・子育てに関すること	防犯・地域の安全	近所のつきあい	就学環境（学業の負荷・人間関係など）	その他	特にない	無回答
全体		830	10.1	7.8	3.1	1.0	2.4	22.9	1.6
年齢	20歳未満	9	0.0	22.2	0.0	22.2	0.0	11.1	11.1
	20～29歳	66	7.6	3.0	0.0	3.0	4.5	16.7	0.0
	30～39歳	82	31.7	3.7	1.2	0.0	0.0	13.4	2.4
	40～49歳	97	32.0	11.3	1.0	3.1	2.1	14.4	0.0
	50～59歳	129	12.4	9.3	3.1	0.8	3.1	17.8	0.8
	60～64歳	84	2.4	10.7	6.0	0.0	6.0	16.7	1.2
	65～74歳	189	2.1	6.9	2.1	0.0	2.6	33.9	1.1
	75歳以上	172	0.0	7.0	5.8	0.0	0.6	29.7	3.5

○家族構成でみると、二世世代世帯（18歳未満の子どもと同居）では「育児・子育てに関するこ
と」が他世帯と比べて多く挙げられています。

単位：％

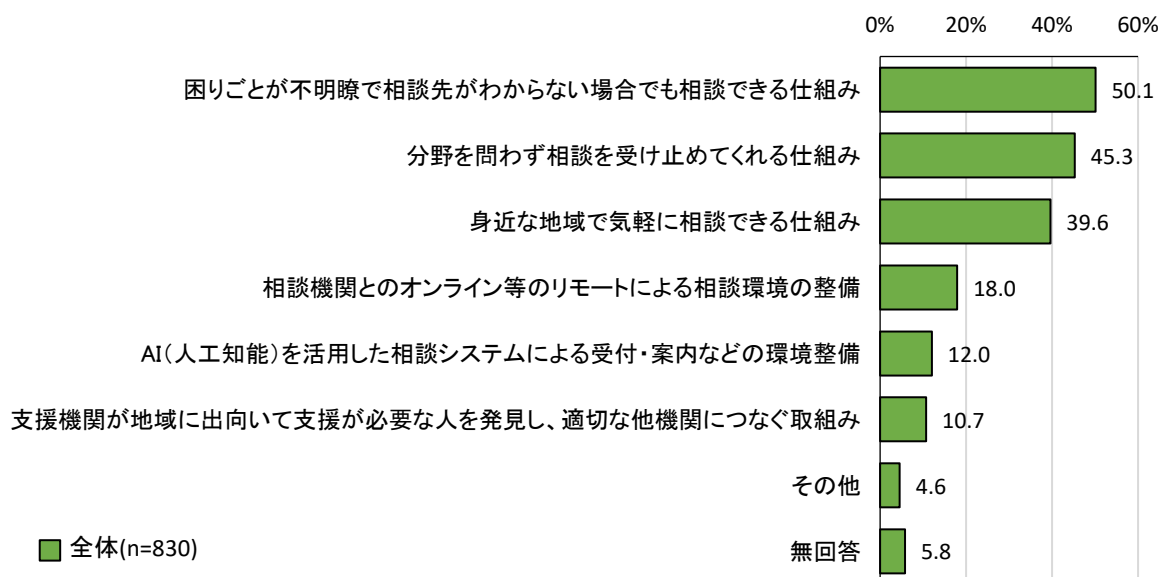
	合計	自分の心身の健康に関するこ と	家族の介護・世話	経済面（収入・支出）に関するこ と	家族の心身の健康に関するこ と	仕事に関するこ と（就労）	人間関係に関するこ と	職場環境（仕事の負荷・人間関係など）	災害に関するこ と
全体	830	33.1	23.4	22.5	18.9	15.1	12.5	11.6	11.1
家族構成	単身（ひとり暮らし）	186	30.6	12.9	25.8	7.0	16.7	11.3	7.5
	夫婦のみ	250	31.2	30.0	17.6	22.8	8.0	7.6	11.2
	二世世代世帯（18歳未満の子どもと同居）	113	31.9	16.8	27.4	13.3	27.4	19.5	14.2
	二世世代世帯（その他）	213	36.6	28.6	21.6	26.3	15.0	13.6	11.3
	三世世代世帯（18歳未満の子どもと同居）	10	60.0	30.0	20.0	30.0	10.0	20.0	20.0
	三世世代世帯（その他）	20	45.0	40.0	25.0	35.0	20.0	15.0	15.0
	兄弟姉妹と同居	8	50.0	12.5	25.0	25.0	12.5	37.5	0.0
	その他	22	27.3	9.1	36.4	4.5	22.7	9.1	22.7

	合計	育児・子育てに関するこ と	防犯・地域の安全	近所のつきあい	就学環境（学業の負荷・人間関係など）	その他	特 に な い	無 回 答
全体	830	10.1	7.8	3.1	1.0	2.4	22.9	1.6
家族構成	単身（ひとり暮らし）	186	1.1	5.4	2.7	0.5	4.3	25.8
	夫婦のみ	250	2.8	7.2	4.0	0.0	2.4	30.8
	二世世代世帯（18歳未満の子どもと同居）	113	57.5	10.6	3.5	1.8	0.0	8.8
	二世世代世帯（その他）	213	2.8	9.4	1.4	1.4	1.9	18.8
	三世世代世帯（18歳未満の子どもと同居）	10	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	30.0
	三世世代世帯（その他）	20	10.0	15.0	5.0	0.0	0.0	5.0
	兄弟姉妹と同居	8	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5
	その他	22	4.5	0.0	0.0	4.5	4.5	36.4

(3) 相談支援体制の充実に必要なこと

問6 あなたは、困りごとに対する相談支援体制を充実させるには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

○相談支援体制の充実に必要なことは、「困りごとが不明瞭で相談先がわからない場合でも相談できる仕組み」が50.1%で最も多く、以下「分野を問わず相談を受け止めてくれる仕組み」が45.3%、「身近な地域で気軽に相談できる仕組み」が39.6%、「相談機関とのオンライン等のリモートによる相談環境の整備」が18.0%などとなっています。



○性別でみると、「困りごとが不明瞭で相談先がわからない場合でも相談できる仕組み」や「身近な地域で気軽に相談できる仕組み」は男性より女性で多く、「AI（人工知能）を活用した相談システムによる受付・案内などの環境整備」は女性より男性で多くなっています。

○年齢別でみると、「分野を問わず相談を受け止めてくれる仕組み」が60歳以上で5割前後、「困りごとが不明瞭で相談先がわからない場合でも相談できる仕組み」は20歳代から64歳までいずれも5割以上と多く挙げられています。「身近な地域で気軽に相談できる仕組み」については、30歳代で2割台と他年代より低くなっています。また、「相談機関とのオンライン等のリモートによる相談環境の整備」は20歳代から40歳代において3割を超え、若い世代でのニーズが高くなっています。

単位：％

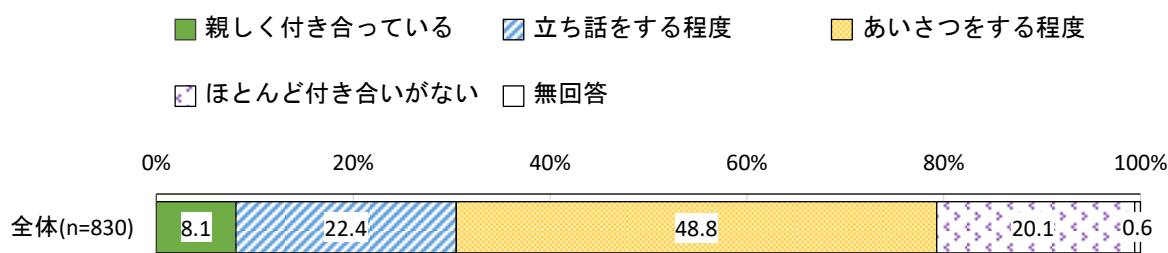
		合計	困りごとが不明瞭で相談先がわからない場合でも相談できる仕組み	分野を問わず相談を受け止めてくれる仕組み	身近な地域で気軽に相談できる仕組み	相談機関とのオンライン等のリモートによる相談環境の整備	AI（人工知能）を活用した相談システムによる受付・案内などの環境整備	支援機関が地域に出向いて支援が必要な人を発見し、適切な他機関につなぐ取組み	その他	無回答
	全体	830	50.1	45.3	39.6	18.0	12.0	10.7	4.6	5.8
性別	男性	347	45.5	46.4	36.6	17.0	16.7	9.5	4.9	5.5
	女性	443	54.2	44.5	43.1	18.1	8.8	11.5	4.1	5.6
	回答しない	20	55.0	55.0	25.0	35.0	15.0	20.0	10.0	0.0
年齢	20歳未満	9	33.3	33.3	33.3	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1
	20～29歳	66	54.5	34.8	43.9	34.8	16.7	7.6	0.0	1.5
	30～39歳	82	57.3	41.5	24.4	32.9	30.5	8.5	6.1	2.4
	40～49歳	97	59.8	41.2	38.1	30.9	20.6	10.3	7.2	0.0
	50～59歳	129	52.7	43.4	37.2	20.2	11.6	9.3	7.0	1.6
	60～64歳	84	65.5	53.6	46.4	17.9	9.5	20.2	1.2	9.5
	65～74歳	189	47.1	48.1	44.4	10.1	5.8	12.2	4.2	5.3
	75歳以上	172	34.3	47.7	39.5	4.1	4.7	7.6	4.1	14.0

4 地域づくりについて

(1) 現在の近所との関わり方

問8 あなたは現在、ご近所とどのような関わり方をしていますか。(〇は1つだけ)

○現在の近所との関わり方は、「あいさつをする程度」が48.8%で最も多く、以下「立ち話をする程度」が22.4%、「ほとんど付き合いがない」が20.1%、「親しく付き合っている」が8.1%となっています。



○性別でみると、男女ともに「あいさつをする程度」が約半数を占めていますが、「立ち話をする程度」は女性が男性を、「ほとんど付き合いがない」は男性が女性をやや上回ります。

○年齢別でみると、20歳代では「ほとんど付き合いがない」が、30歳代から64歳までは「あいさつをする程度」が最も多くなっています。「親しく付き合っている」や「立ち話をする程度」は65歳以上の年代において割合が高く、高齢世代ほど親しい近所付き合いをしていることがうかがえます。

単位: %

		合計	親しく付き合っている	立ち話をする程度	あいさつをする程度	ほとんど付き合いがない	無回答
性別	全体	830	8.1	22.4	48.8	20.1	0.6
	男性	347	7.2	18.7	49.9	23.6	0.6
	女性	443	8.4	24.6	49.4	17.2	0.5
	回答しない	20	5.0	25.0	35.0	35.0	0.0
年齢	20歳未満	9	11.1	0.0	55.6	33.3	0.0
	20～29歳	66	0.0	0.0	47.0	53.0	0.0
	30～39歳	82	3.7	3.7	54.9	36.6	1.2
	40～49歳	97	4.1	16.5	53.6	25.8	0.0
	50～59歳	129	4.7	16.3	57.4	20.9	0.8
	60～64歳	84	6.0	20.2	60.7	13.1	0.0
	65～74歳	189	10.6	33.3	45.5	9.5	1.1
	75歳以上	172	16.3	37.2	35.5	10.5	0.6

○住居形態別でみると、「あいさつをする程度」は持ち家（一戸建て、分譲マンション等集合住宅）及び賃貸住宅（一戸建て、マンション、アパート等）で最も多く、4割台から5割台を占めています。公営住宅・UR賃貸では「ほとんど付き合いがない」が32.8%で最多となっていますが、「親しく付き合っている」と「立ち話をする程度」についてもそれぞれ31.0%と同程度となっています。

○孤独感でみると、「立ち話をする程度」は孤独感をたまに感じる層とまったく感じない層で多く、「ほとんど付き合いがない」は孤独感をよく感じる層としばしば感じる層で多くなっています。「ほとんど近所付き合いがない」は、孤独感を覚える頻度が多いほど割合が高くなっています。

○暮らし向きでみると、「ほとんど付き合いがない」は生活が苦しいと感じる層で4割弱を占め、生活にゆとりがあると感じる層の約2倍高くなっています。

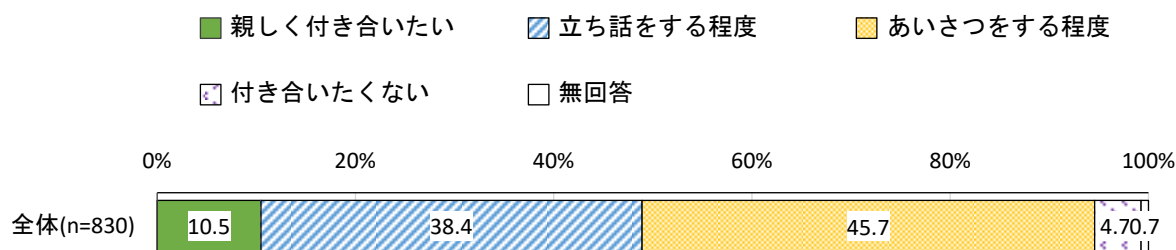
単位：％

		合計	親しく付き合っている	立ち話をする程度	あいさつをする程度	ほとんど付き合いがない	無回答
	全体	830	8.1	22.4	48.8	20.1	0.6
住 ま い の 種 類	持ち家（一戸建て）	253	10.7	38.3	42.3	7.9	0.8
	持ち家（分譲マンション等集合住宅）	266	11.3	21.1	55.3	12.4	0.0
	賃貸住宅（一戸建て）	14	21.4	14.3	50.0	14.3	0.0
	賃貸住宅（マンション、アパート等）	219	1.8	5.0	53.0	39.7	0.5
	公営住宅・UR賃貸	58	5.2	31.0	31.0	32.8	0.0
	官舎・寮・社宅等	6	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7
	その他	11	0.0	0.0	63.6	27.3	9.1
孤 独 感	よく感じる	24	0.0	12.5	37.5	50.0	0.0
	しばしば感じる	37	0.0	10.8	40.5	45.9	2.7
	たまに感じる	235	6.8	21.3	47.7	23.4	0.9
	まったく感じない	484	10.1	25.0	50.8	14.0	0.0
暮 ら し 向 き	ゆとりがある	123	11.4	15.4	52.0	20.3	0.8
	ややゆとりがある	363	8.8	23.4	51.2	16.5	0.0
	やや苦しい	262	6.5	25.6	46.6	21.4	0.0
	苦しい	58	1.7	13.8	46.6	37.9	0.0

(2) 望ましい近所との関わり方

問9 あなたが望ましいと思う、ご近所との関わり方はどれですか。(〇は1つだけ)

○望ましい近所との関わり方は、「あいさつをする程度」が45.7%で最も多く、以下「立ち話をする程度」が38.4%、「親しく付き合いたい」が10.5%となっています。一方で、「付き合いたくない」は4.7%となっています。



○性別でみると、男女ともに「あいさつをする程度」が4割台で最も多く、次いで「立ち話をする程度」が挙げられています。

○年齢別でみると、20歳未満から64歳までの各年代において「あいさつをする程度」が、65歳以上では「立ち話をする程度」がそれぞれ最も多く挙げられています。また、「立ち話をする程度」は年齢を重ねるとともに割合が高くなりますが、「あいさつをする程度」は年齢とともに割合が低くなっています。

単位: %

		合計	親しく付き合いたい	立ち話をする程度	あいさつをする程度	付き合いたくない	無回答
性別	全体	830	10.5	38.4	45.7	4.7	0.7
	男性	347	12.4	36.3	47.0	3.7	0.6
	女性	443	8.4	40.6	45.6	5.0	0.5
	回答しない	20	10.0	25.0	50.0	15.0	0.0
年齢	20歳未満	9	0.0	11.1	66.7	22.2	0.0
	20～29歳	66	0.0	12.1	72.7	15.2	0.0
	30～39歳	82	6.1	30.5	51.2	11.0	1.2
	40～49歳	97	10.3	32.0	51.5	6.2	0.0
	50～59歳	129	7.0	34.9	55.0	2.3	0.8
	60～64歳	84	11.9	41.7	44.0	1.2	1.2
	65～74歳	189	12.2	49.2	34.9	2.6	1.1
	75歳以上	172	17.4	45.9	34.3	1.7	0.6

- 孤独感でみると、「あいさつをする程度」は、孤独感をよく感じる層を除きいずれも4割台半ばと最も多くなっていますが、孤独感をよく感じる層では約3割にとどまります。「付き合いたくない」は、孤独をしばしば感じる人やよく感じる人で1割台半ばとなっています。
- 暮らし向きでみると、「あいさつをする程度」はいずれの暮らし向きにおいても最も多くなっています。
- 近所との関わり方でみると、近所付き合いのある層では、現在の近所との関わり方を維持することを望む傾向にあります。一方、ほとんど近所付き合いのない人においては、約6割が「あいさつをする程度」が望ましい関わり方であると回答しています。

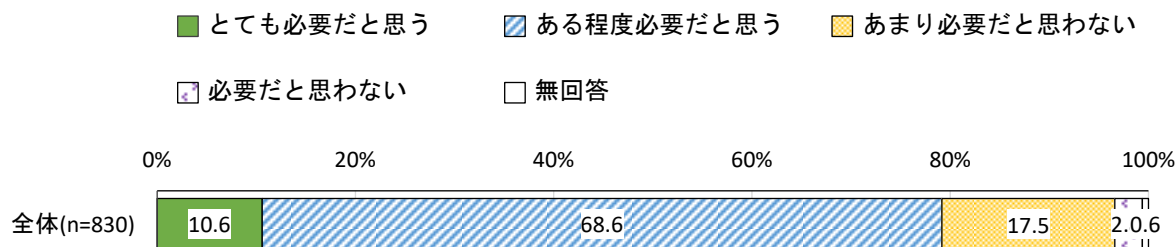
単位：％

		合計	親しく付き合いたい	立ち話をする程度	あいさつをする程度	付き合いたくない	無回答
	全体	830	10.5	38.4	45.7	4.7	0.7
孤独感	よく感じる	24	8.3	45.8	29.2	16.7	0.0
	しばしば感じる	37	10.8	24.3	45.9	16.2	2.7
	たまに感じる	235	12.3	36.6	46.0	4.3	0.9
	まったく感じない	484	10.1	40.7	45.7	3.3	0.2
暮らし向き	ゆとりがある	123	11.4	35.0	48.8	4.9	0.0
	ややゆとりがある	363	10.7	41.3	43.5	4.1	0.3
	やや苦しい	262	9.9	40.1	45.0	5.0	0.0
	苦しい	58	8.6	29.3	55.2	5.2	1.7
近所との関わり方	親しく付き合っている	67	70.1	22.4	6.0	0.0	1.5
	立ち話をする程度	186	8.1	86.0	5.9	0.0	0.0
	あいさつをする程度	405	4.7	28.9	64.4	1.7	0.2
	ほとんど付き合いがない	167	3.6	16.2	61.1	19.2	0.0

(3) 地域とのつながりの必要性

問10 あなたは、地域とのつながりが必要だと思いますか。(〇は1つだけ)

○地域とのつながりの必要性は、「ある程度必要だと思う」が68.6%で最も多く、以下「あまり必要だと思わない」が17.5%、「とても必要だと思う」が10.6%、「必要だと思わない」が2.8%となっています。



○年齢別でみると、すべての年代において「ある程度必要だと思う」が最も多く挙げられています。一方で、20歳代では「あまり必要だと思わない」「必要だと思わない」の割合が他年代と比べて高くなっています。

○家族構成でみると、いずれの世帯においても「ある程度必要だと思う」が最多となっており、なかでも夫婦のみの世帯、二世帯世帯で7割前後と高い割合となっています。

単位: %

		合計	とても必要だと思う	ある程度必要だと思う	あまり必要だと思わない	必要だと思わない	無回答
全体		830	10.6	68.6	17.5	2.8	0.6
年齢	20歳未満	9	22.2	44.4	22.2	11.1	0.0
	20～29歳	66	6.1	50.0	33.3	9.1	1.5
	30～39歳	82	8.5	57.3	26.8	6.1	1.2
	40～49歳	97	7.2	74.2	16.5	2.1	0.0
	50～59歳	129	8.5	68.2	22.5	0.0	0.8
	60～64歳	84	7.1	76.2	14.3	2.4	0.0
	65～74歳	189	12.2	72.0	14.3	1.1	0.5
	75歳以上	172	16.3	71.5	8.7	2.9	0.6
家族構成	単身（ひとり暮らし）	186	5.9	61.3	24.7	7.0	1.1
	夫婦のみ	250	14.4	68.4	14.8	2.0	0.4
	二世帯世帯（18歳未満の子どもと同居）	113	12.4	69.9	16.8	0.9	0.0
	二世帯世帯（その他）	213	9.9	73.7	16.0	0.5	0.0
	三世帯世帯（18歳未満の子どもと同居）	10	20.0	50.0	20.0	0.0	10.0
	三世帯世帯（その他）	20	10.0	80.0	10.0	0.0	0.0
	兄弟姉妹と同居	8	0.0	87.5	12.5	0.0	0.0
	その他	22	9.1	63.6	13.6	13.6	0.0

○孤独感でみると、孤独を感じる頻度が少ない層では、7割前後が地域のつながりを「ある程度必要だと思う」と回答していますが、孤独感をしばしば感じる層やよく感じる層では4割台半ばから5割とやや低くなっています。しかし、「とても必要だと思う」は孤独感をよく感じる層で約2割と、他の層と比べて多くなっています。

○暮らし向きでみると、生活にゆとりのない人ではゆとりのある人に比べて地域のつながりを重視していない傾向にあり、約4人に1人が「あまり必要だと思わない」と回答しています。

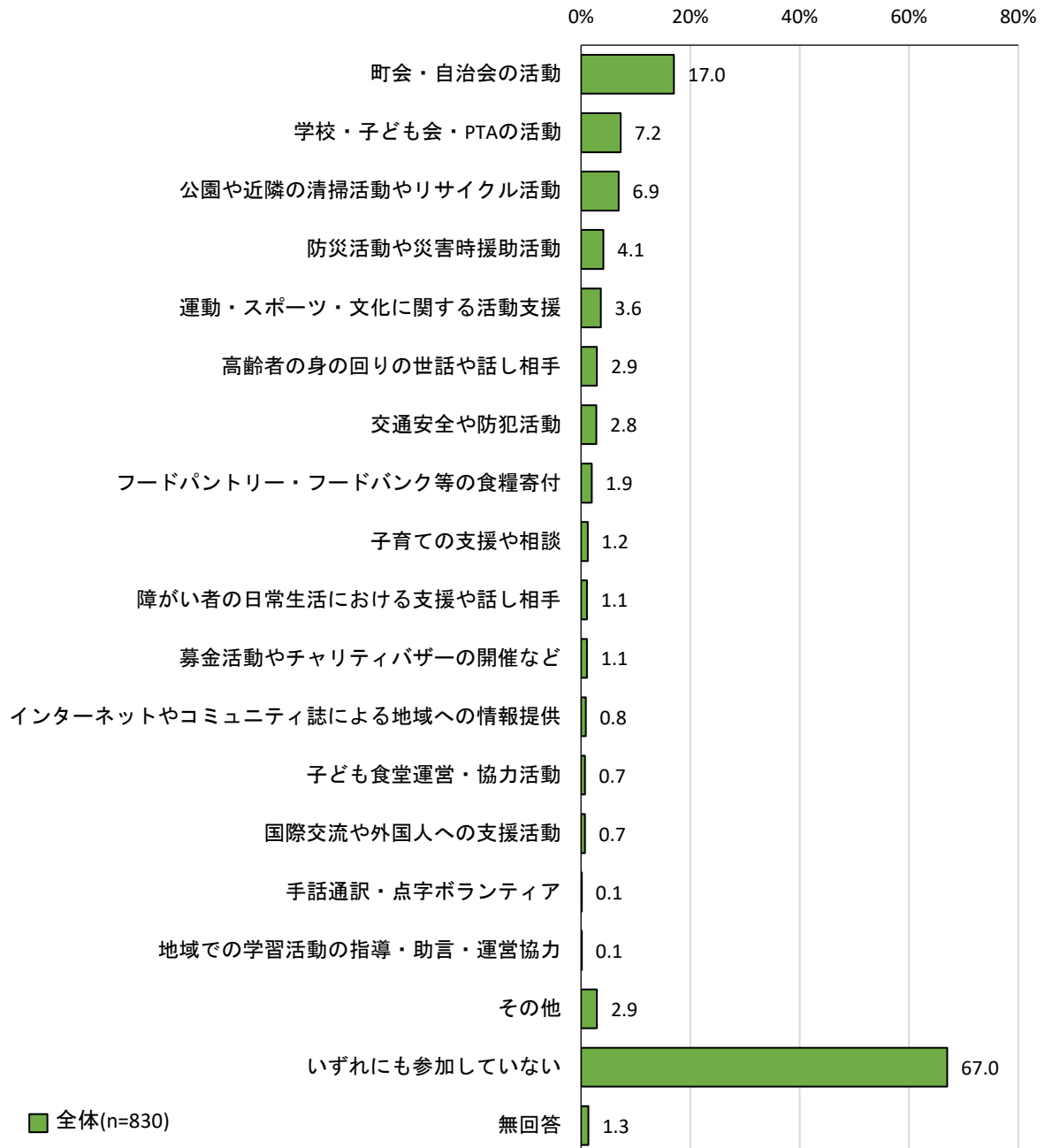
単位：％

		合計	とても必要だと思う	ある程度必要だと思う	あまり必要だと思わない	必要だと思わない	無回答
全体		830	10.6	68.6	17.5	2.8	0.6
孤独感	よく感じる	24	20.8	45.8	25.0	8.3	0.0
	しばしば感じる	37	10.8	51.4	29.7	5.4	2.7
	たまに感じる	235	8.9	73.2	15.3	1.7	0.9
	まったく感じない	484	11.6	68.2	17.6	2.7	0.0
暮らし向き	ゆとりがある	123	14.6	65.9	16.3	3.3	0.0
	ややゆとりがある	363	11.3	69.1	17.1	2.2	0.3
	やや苦しい	262	7.3	74.0	17.2	1.5	0.0
	苦しい	58	10.3	56.9	25.9	6.9	0.0

(4) 地域活動やボランティア活動への参加状況

問11 あなたは過去1年くらいの間に、以下のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。(〇はいくつでも)

○地域活動やボランティア活動への参加状況は、「町会・自治会の活動」が17.0%で最も多く、以下、「学校・子ども会・PTAの活動」が7.2%、「公園や近隣の清掃活動やリサイクル活動」が6.9%、「防災活動や災害時援助活動」が4.1%などとなっています。一方、「いずれにも参加していない」は67.0%を占めています。



○年齢別でみると、30歳代及び40歳代で「学校・子ども会・PTAの活動」が最も多く、40歳代では2割を超えています。50歳代以降では「町会・自治会の活動」が年代の高まりとともに多くなっており、75歳以上では約3割となっています。

単位：％

		合計	町会・自治会の活動	学校・子ども会・PTAの活動	公園や近隣の清掃活動やリサイクル活動	防災活動や災害時援助活動	運動・スポーツ・文化に関する活動支援	高齢者の身の回りの世話や話し相手	交通安全や防犯活動	フードパントリー・フードバンク等の食糧寄付	子育ての支援や相談	障がい者の日常生活における支援や話し相手
	全体	830	17.0	7.2	6.9	4.1	3.6	2.9	2.8	1.9	1.2	1.1
年齢	20歳未満	9	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	20～29歳	66	1.5	3.0	0.0	1.5	4.5	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5
	30～39歳	82	9.8	11.0	2.4	2.4	1.2	0.0	0.0	2.4	2.4	1.2
	40～49歳	97	9.3	22.7	6.2	0.0	6.2	1.0	0.0	3.1	1.0	0.0
	50～59歳	129	14.0	10.9	6.2	3.9	4.7	2.3	3.9	3.1	1.6	0.8
	60～64歳	84	19.0	6.0	8.3	3.6	1.2	0.0	3.6	1.2	1.2	2.4
	65～74歳	189	18.5	2.6	5.3	4.2	1.6	6.9	2.6	2.1	1.6	1.6
	75歳以上	172	29.7	1.2	13.4	8.7	5.8	3.5	5.8	1.2	0.6	0.0

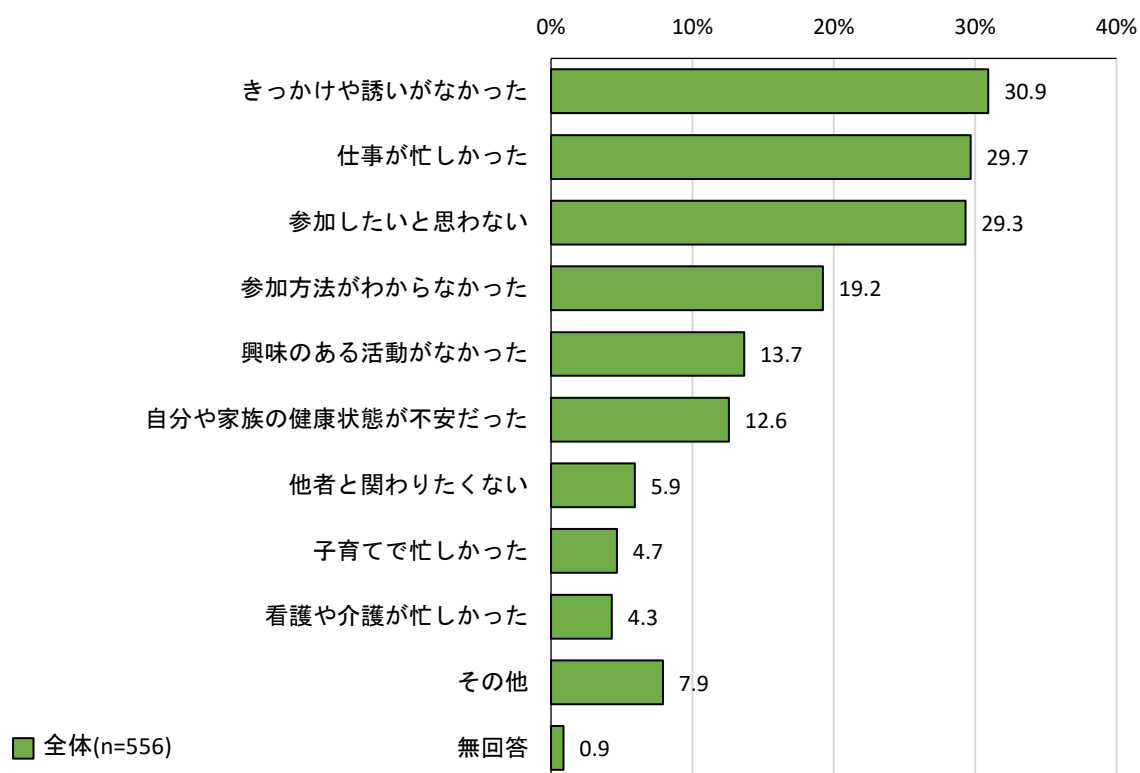
		合計	募金活動やチャリティバザーの開催など	インターネットやコミュニティ誌による地域への情報提供	子ども食堂運営・協力活動	国際交流や外国人への支援活動	手話通訳・点字ボランティア	地域での学習活動の指導・助言・運営協力	その他	いずれにも参加していない	無回答
	全体	830	1.1	0.8	0.7	0.7	0.1	0.1	2.9	67.0	1.3
年齢	20歳未満	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	55.6	0.0
	20～29歳	66	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	1.5	87.9	0.0
	30～39歳	82	1.2	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	76.8	1.2
	40～49歳	97	1.0	2.1	1.0	2.1	0.0	0.0	1.0	64.9	0.0
	50～59歳	129	1.6	1.6	0.8	0.0	0.0	0.0	1.6	69.0	0.8
	60～64歳	84	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	2.4	65.5	1.2
	65～74歳	189	1.1	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	3.2	68.8	1.6
	75歳以上	172	1.7	1.2	1.2	0.6	0.0	0.6	6.4	52.9	2.9

(5) 地域活動やボランティア活動に参加しなかった理由

【問11で18を回答した方へ】

問11-2 あなたが参加しなかった理由はなんですか。(〇はいくつでも)

○地域活動やボランティア活動に参加しなかった理由は、「きっかけや誘いがなかった」が30.9%で最も多く、以下「仕事が忙しかった」が29.7%、「参加したいと思わない」が29.3%、「参加方法がわからなかった」が19.2%などとなっています。



○年齢別でみると、30歳代、50歳代、60～64歳では「仕事が忙しかった」が4割弱から4割台半ばで最も多く、20歳代、40歳代では「きっかけや誘いがなかった」が4割弱で最多となっています。一方で、「参加したいと思わない」は20歳代、50歳代を除いた各年代でそれぞれ約3割となっています。

単位：％

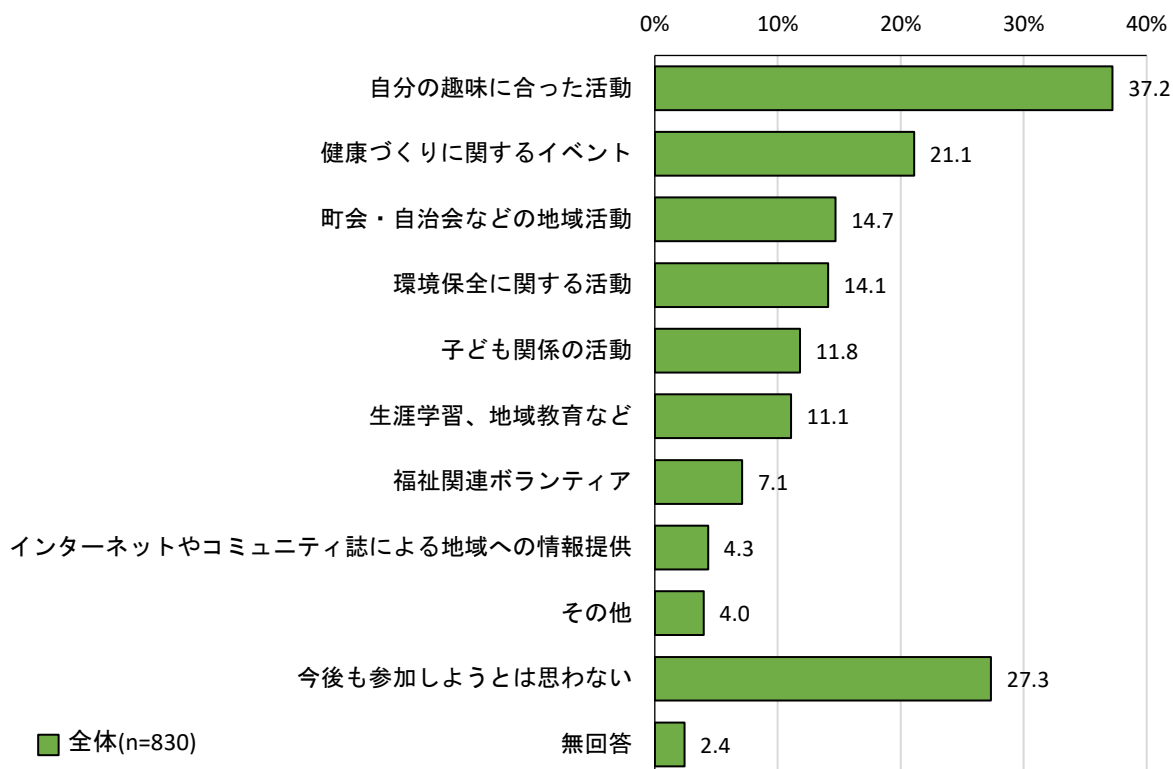
		合計	きっかけや誘いがなかった	仕事が忙しかった	参加方法がわからなかった	興味のある活動がなかった	自分や家族の健康状態が不安だった	他者と関わりたくない	子育てで忙しかった	看護や介護が忙しかった	参加したいと思わない	その他	無回答
全体		556	30.9	29.7	19.2	13.7	12.6	5.9	4.7	4.3	29.3	7.9	0.9
年齢	20歳未満	5	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0
	20～29歳	58	37.9	29.3	24.1	15.5	0.0	5.2	1.7	0.0	29.3	12.1	0.0
	30～39歳	63	33.3	34.9	22.2	15.9	3.2	7.9	9.5	1.6	33.3	3.2	0.0
	40～49歳	63	38.1	33.3	20.6	15.9	6.3	9.5	20.6	1.6	33.3	7.9	0.0
	50～59歳	89	36.0	44.9	22.5	12.4	12.4	10.1	3.4	5.6	22.5	5.6	0.0
	60～64歳	55	30.9	45.5	21.8	9.1	16.4	0.0	1.8	16.4	29.1	5.5	0.0
	65～74歳	130	27.7	22.3	16.2	13.1	16.9	3.8	0.0	2.3	30.8	10.8	2.3
	75歳以上	91	20.9	9.9	12.1	14.3	24.2	4.4	2.2	5.5	27.5	8.8	2.2

(6) 今後参加したい地域活動やボランティア活動

問12 今後、どのような地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。

(○はいくつでも)

○今後参加したい地域活動やボランティア活動は、「自分の趣味に合った活動」が37.2%で最も多く、以下「健康づくりに関するイベント」が21.1%、「町会・自治会などの地域活動」が14.7%などとなっています。一方、「今後も参加しようとは思わない」は27.3%となっています。



○年齢別でみると、30歳代を除いたすべての年代において「自分の趣味に合った活動」が最多となっています。高齢世代では「健康づくりに関するイベント」への関心が高く、60歳代では約3割、75歳以上では年代でいずれも2割超えとなっています。30歳代と40歳代では「子ども関係の活動」が2割台と他年代より割合が高くなっています。一方で、「今後も参加しようとは思わない」は30歳代で4割弱と最も多くなっています。

単位：％

		合計	自分の趣味に合った活動	健康づくりに関するイベント	町会・自治会などの地域活動	環境保全に関する活動	子ども関係の活動	生涯学習、地域教育など
全体		830	37.2	21.1	14.7	14.1	11.8	11.1
年齢	20歳未満	9	44.4	11.1	33.3	22.2	44.4	11.1
	20～29歳	66	43.9	7.6	6.1	9.1	3.0	10.6
	30～39歳	82	32.9	17.1	11.0	11.0	25.6	15.9
	40～49歳	97	40.2	19.6	12.4	10.3	22.7	10.3
	50～59歳	129	37.2	12.4	16.3	13.2	14.7	13.2
	60～64歳	84	47.6	29.8	10.7	14.3	9.5	19.0
	65～74歳	189	29.1	28.6	18.0	15.9	10.1	11.1
	75歳以上	172	38.4	23.8	17.4	18.0	1.7	4.1

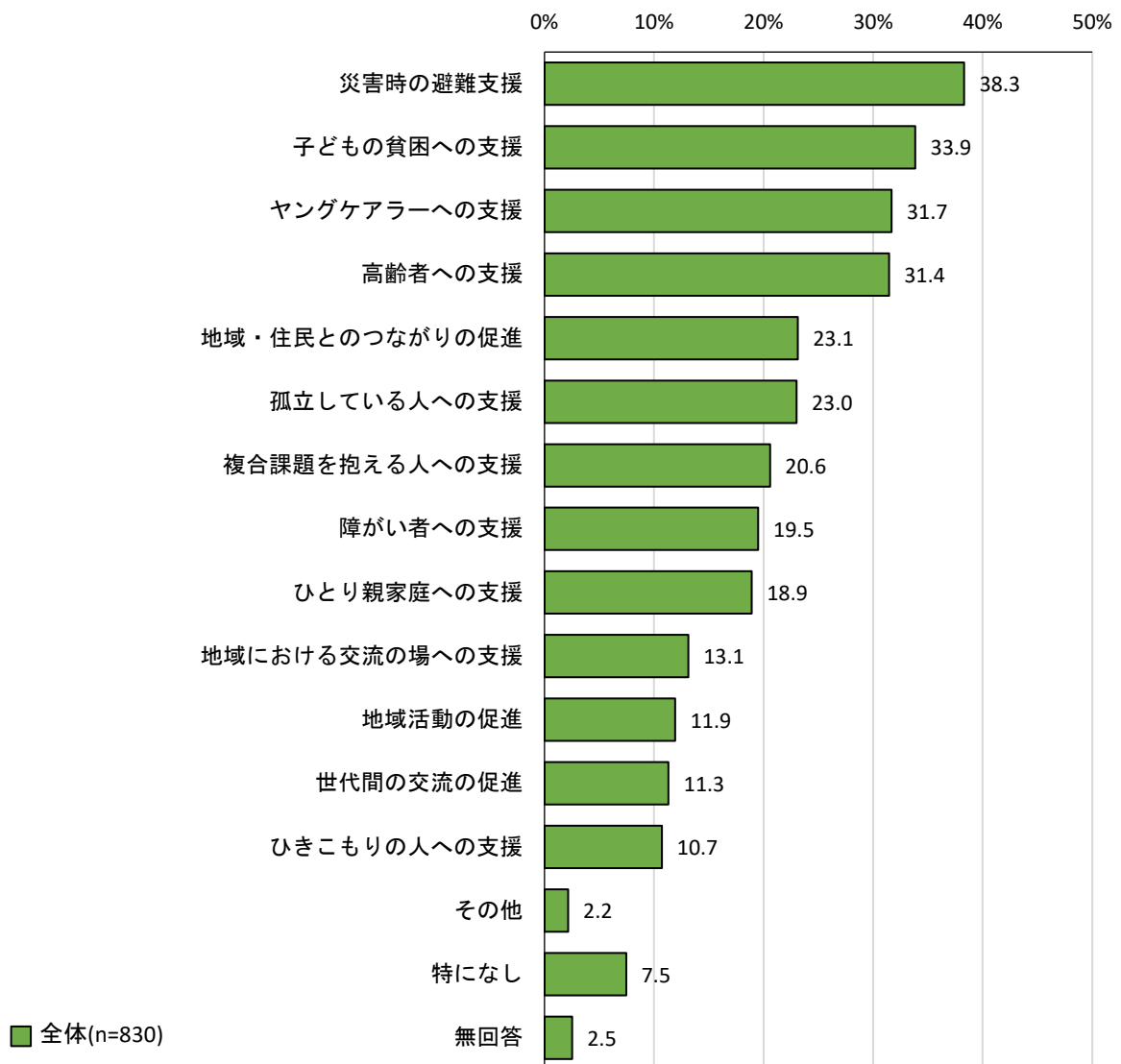
		合計	福祉関連ボランティア	インターネットやコミュニティ誌による地域への情報提供	その他	今後も参加しようとは思わない	無回答
全体		830	7.1	4.3	4.0	27.3	2.4
年齢	20歳未満	9	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0
	20～29歳	66	6.1	1.5	6.1	30.3	1.5
	30～39歳	82	2.4	3.7	0.0	37.8	1.2
	40～49歳	97	8.2	8.2	2.1	24.7	0.0
	50～59歳	129	7.8	7.0	3.1	31.0	1.6
	60～64歳	84	10.7	7.1	4.8	21.4	2.4
	65～74歳	189	9.0	2.6	4.2	28.0	2.6
	75歳以上	172	4.7	1.7	6.4	22.1	5.2

5 日常生活の課題について

(1) 地域や日常生活における優先課題

問19 地域や日常生活における優先課題だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

〇地域や日常生活における優先課題は、「災害時の避難支援」が38.3%で最も多く、以下「子どもの貧困への支援」が33.9%、「ヤングケアラーへの支援」が31.7%、「高齢者への支援」が31.4%などとなっています。



○年齢別でみると、20歳代、50歳代、60～64歳では「災害時の避難支援」が、30歳代では「子どもの貧困への支援」が、40歳代では「ヤングケアラーへの支援」が、65歳以上では「高齢者への支援」が最も多くなっています。

単位：％

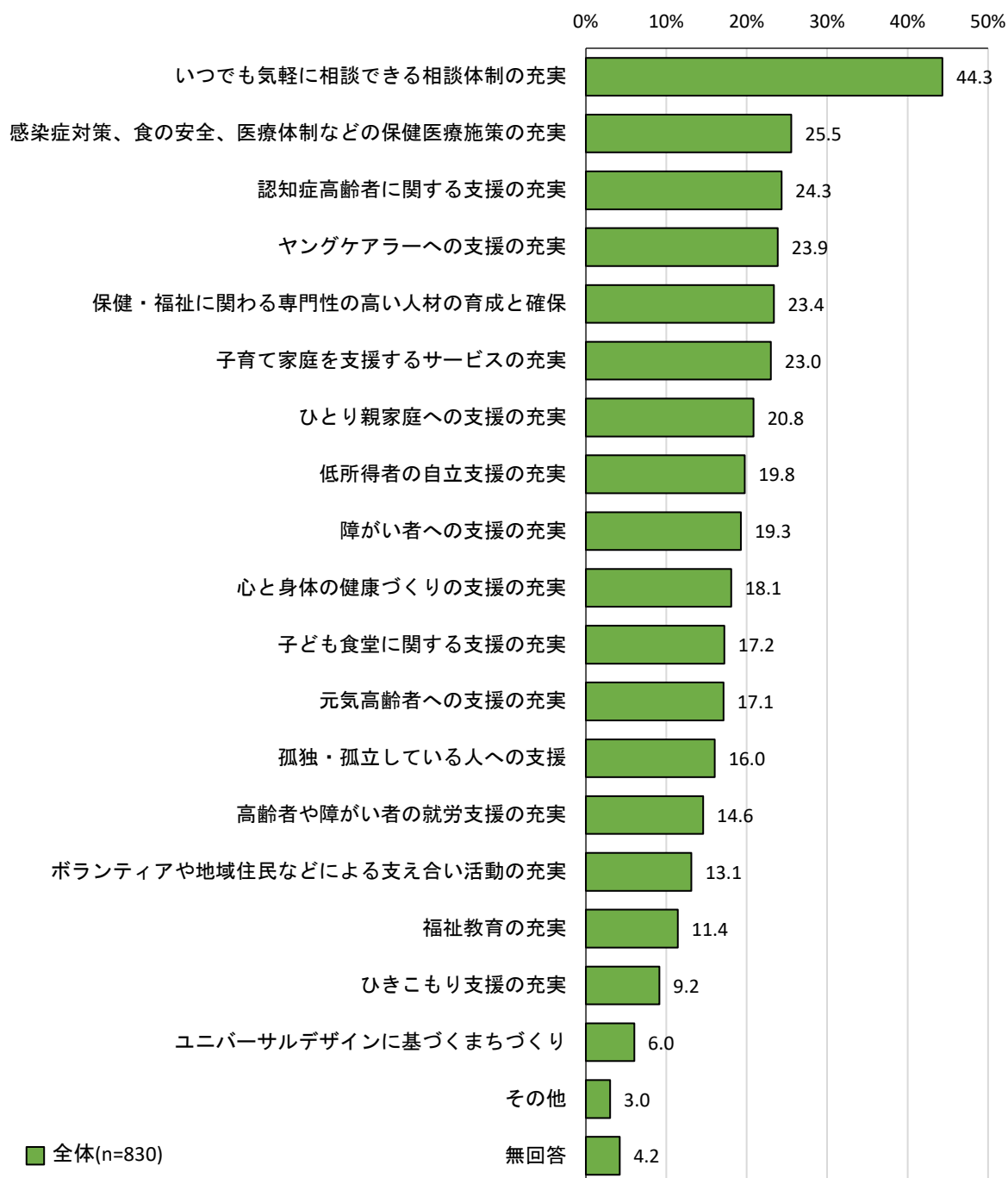
		合計	災害時の避難支援	子どもの貧困への支援	ヤングケアラーへの支援	高齢者への支援	地域・住民とのつながりの促進	孤立している人への支援	複合課題を抱える人への支援	障がい者への支援
全体		830	38.3	33.9	31.7	31.4	23.1	23.0	20.6	19.5
年齢	20歳未満	9	66.7	33.3	33.3	22.2	33.3	33.3	33.3	33.3
	20～29歳	66	36.4	33.3	28.8	21.2	10.6	19.7	16.7	19.7
	30～39歳	82	36.6	43.9	42.7	7.3	18.3	20.7	29.3	14.6
	40～49歳	97	36.1	38.1	39.2	22.7	18.6	21.6	26.8	16.5
	50～59歳	129	47.3	45.7	38.8	29.5	18.6	24.8	27.1	21.7
	60～64歳	84	50.0	36.9	41.7	40.5	32.1	29.8	25.0	22.6
	65～74歳	189	34.4	30.2	28.0	39.2	26.5	25.9	18.0	22.8
	75歳以上	172	31.4	20.9	17.4	40.7	27.3	18.0	9.9	15.7

		合計	ひとり親家庭への支援	地域における交流の場への支援	地域活動の促進	世代間の交流の促進	ひきこもりの人への支援	その他	特になし	無回答
全体		830	18.9	13.1	11.9	11.3	10.7	2.2	7.5	2.5
年齢	20歳未満	9	33.3	11.1	11.1	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0
	20～29歳	66	19.7	4.5	3.0	4.5	10.6	3.0	6.1	0.0
	30～39歳	82	23.2	15.9	18.3	17.1	11.0	6.1	7.3	1.2
	40～49歳	97	24.7	11.3	12.4	19.6	10.3	5.2	5.2	2.1
	50～59歳	129	17.8	7.8	6.2	10.9	14.7	2.3	7.8	0.0
	60～64歳	84	16.7	14.3	16.7	13.1	13.1	2.4	2.4	3.6
	65～74歳	189	18.5	17.5	14.8	6.3	9.5	0.0	10.1	2.6
	75歳以上	172	15.1	14.5	11.0	11.0	7.6	0.6	8.1	5.8

(2) 地域保健福祉の推進に向けて強化してほしい取組み

問2 1 板橋区では、地域の保健福祉の推進に取り組んでいますが、あなたはどのようなことに力を入れてほしいですか。(〇はいくつでも)

○地域保健福祉の推進に向けて強化してほしい取組みは、「いつでも気軽に相談できる相談体制の充実」が44.3%で最も多く、以下「感染症対策、食の安全、医療体制などの保健医療施策の充実」が25.5%、「認知症高齢者に関する支援の充実」が24.3%、「ヤングケアラーへの支援の充実」が23.9%などとなっています。



○年齢別でみると、20歳未満では「子ども食堂に関する支援の充実」が、20歳代から40歳代では「子育て家庭を支援するサービスの充実」が4割弱から4割台半ばで最も多く、50歳代以上の各年代では「いつでも気軽に相談できる相談体制の充実」が4割台半ばから約5割で最多となっています。

単位：％

		合計	いつでも気軽に相談できる相談体制の充実	感染症対策、食の安全、医療体制などの保健医療施策の充実	認知症高齢者に関する支援の充実	ヤングケアラーへの支援の充実	保健・福祉に関わる専門性の高い人材の育成と確保	子育て家庭を支援するサービスの充実	ひとり親家庭への支援の充実	低所得者の自立支援の充実	障がい者への支援の充実	心と身体の健康づくりの支援の充実
	全体	830	44.3	25.5	24.3	23.9	23.4	23.0	20.8	19.8	19.3	18.1
年齢	20歳未満	9	33.3	33.3	22.2	22.2	11.1	22.2	22.2	22.2	22.2	33.3
	20～29歳	66	30.3	21.2	10.6	27.3	15.2	37.9	27.3	19.7	19.7	21.2
	30～39歳	82	36.6	23.2	11.0	28.0	32.9	45.1	19.5	18.3	14.6	24.4
	40～49歳	97	37.1	22.7	20.6	23.7	25.8	38.1	26.8	23.7	20.6	23.7
	50～59歳	129	45.0	30.2	33.3	29.5	19.4	20.2	24.0	23.3	27.9	19.4
	60～64歳	84	51.2	23.8	25.0	26.2	36.9	13.1	15.5	17.9	15.5	21.4
	65～74歳	189	50.8	25.4	26.5	25.4	22.2	18.5	22.8	19.6	19.6	14.3
	75歳以上	172	46.5	26.2	29.1	14.0	19.2	9.9	14.0	16.9	15.7	11.6

		合計	子ども食堂に関する支援の充実	元気高齢者への支援の充実	孤独・孤立している人への支援	高齢者や障がい者の就労支援の充実	ボランティアや地域住民などによる支え合い活動の充実	福祉教育の充実	ひきこもり支援の充実	ユニバーサルデザインに基づくまちづくり	その他	無回答
	全体	830	17.2	17.1	16.0	14.6	13.1	11.4	9.2	6.0	3.0	4.2
年齢	20歳未満	9	44.4	11.1	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	0.0	0.0
	20～29歳	66	18.2	6.1	19.7	13.6	3.0	10.6	9.1	9.1	1.5	1.5
	30～39歳	82	18.3	9.8	15.9	7.3	11.0	13.4	6.1	11.0	3.7	2.4
	40～49歳	97	21.6	7.2	17.5	13.4	16.5	13.4	9.3	11.3	7.2	1.0
	50～59歳	129	20.9	12.4	14.7	17.8	14.7	8.5	15.5	10.1	3.9	2.3
	60～64歳	84	10.7	20.2	14.3	19.0	8.3	16.7	8.3	2.4	1.2	6.0
	65～74歳	189	18.0	18.5	18.0	19.6	15.3	10.6	10.6	3.7	2.1	3.7
	75歳以上	172	12.2	31.4	13.4	8.7	14.5	9.3	4.1	0.0	2.3	9.3

6 ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）について

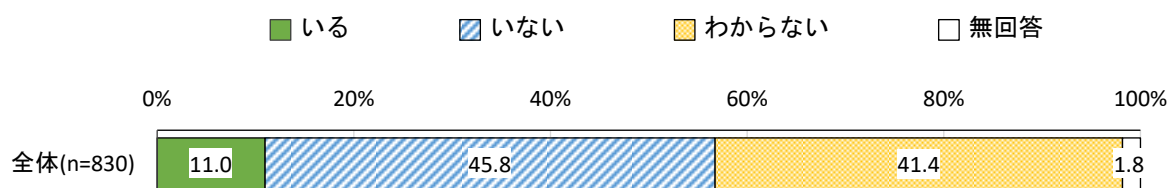
ソーシャル・インクルージョン

「全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う」という理念で、社会全体で包み支え合うことで、誰も排除されず、全ての人が社会に参画する機会を持つことです。

(1) 社会的排除の状態にある人の存在

問22 あなたの周りに社会的に不利な立場にいる、または孤立していたり排除されている人はいますか（社会的排除）。（例）ひきこもり、ひとり親家庭、望まない非正規雇用者、路上生活者、頼る人がいない高齢者など（〇は1つだけ）

○社会的排除の状態にある人の存在は、「いない」が45.8%で最も多く、以下「わからない」が41.4%、「いる」が11.0%となっています。



○孤独感でみると、孤独感をよく感じる層において、「いる」は33.3%となっており、周囲の約3人に1人が社会的排除の状態にあると回答しています。孤独感を感じる頻度が少ないほど「いない」の割合が高く、孤独感をまったく感じない人ではよく感じる人と比べて約30ポイント上回っています。

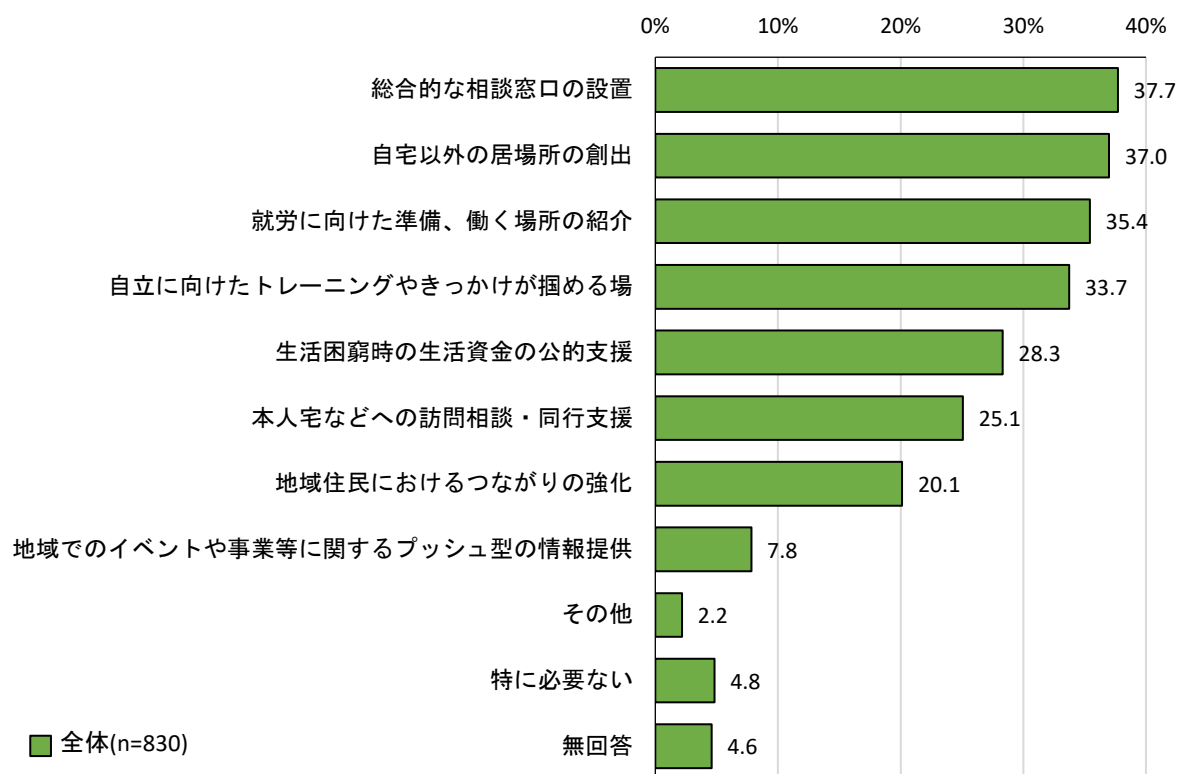
単位：%

		合計	いる	いない	わからない	無回答
	全体	830	11.0	45.8	41.4	1.8
孤独感	よく感じる	24	33.3	20.8	33.3	12.5
	しばしば感じる	37	16.2	29.7	51.4	2.7
	たまに感じる	235	11.9	40.0	46.4	1.7
	まったく感じない	484	9.5	51.0	38.4	1.0

(2) 社会的排除の状態にある人への支援に必要な取組み

問23 ソーシャル・インクルージョンを推進するために、社会的排除の状態にある方への支援としてどのような取組みが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

○社会的排除の状態にある人への支援に必要な取組みは、「総合的な相談窓口の設置」が37.7%で最も多く、以下「自宅以外の居場所の創出」が37.0%、「就労に向けた準備、働く場所の紹介」が35.4%、「自立に向けたトレーニングやきっかけが掴める場」が33.7%などとなっています。

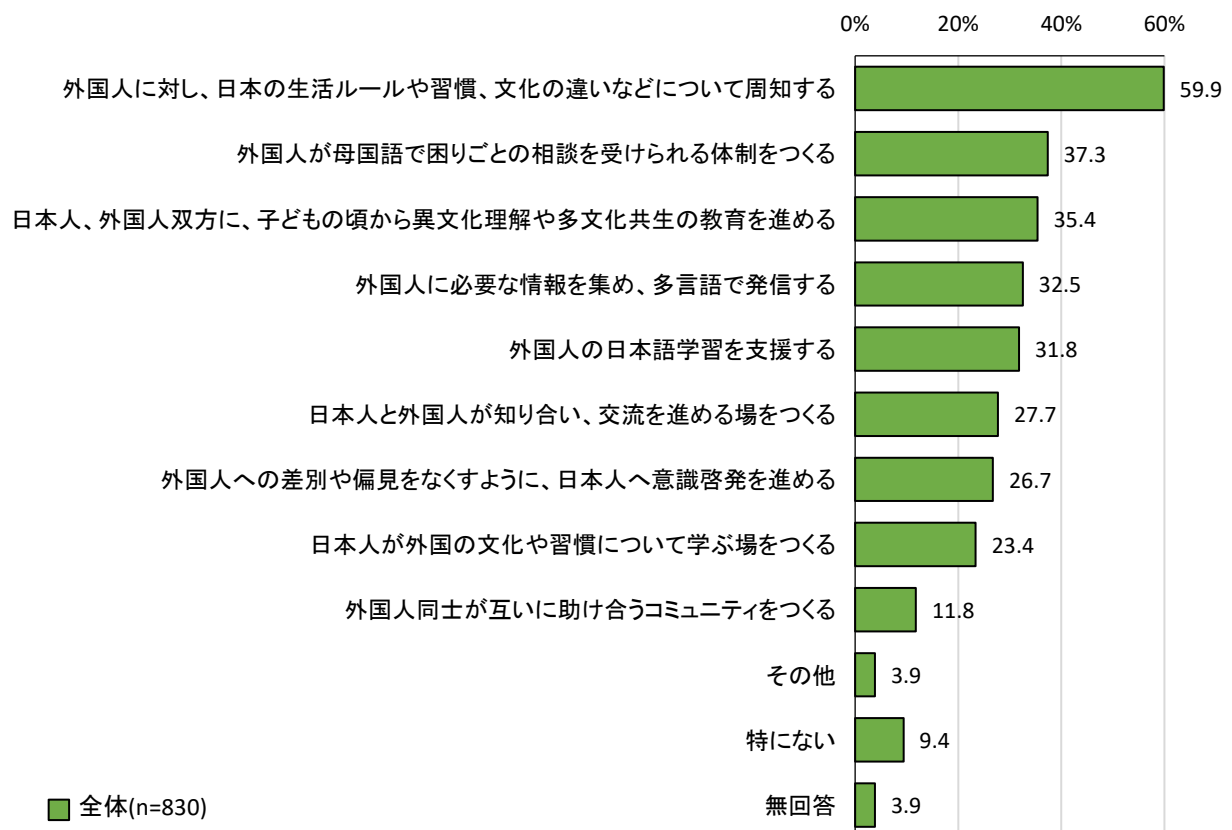


7 外国人との共生について

(1) 多様性と活力ある地域社会の実現に向けて行政に求めること

問25 日本人の区民と外国人の区民が共に安心して暮らし、多様性と活力のある地域社会にしているために、行政に求めることをお答えください。(〇はいくつでも)

○多様性と活力ある地域社会の実現に向けて行政に求めることは、「外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する」が59.9%で最も多く、以下「外国人が母国語で困りごとの相談を受けられる体制をつくる」が37.3%、「日本人、外国人双方に、子どもの頃から異文化理解や多文化共生の教育を進める」が35.4%、「外国人に必要な情報を集め、多言語で発信する」が32.5%などとなっています。



○年齢別でみると、20歳代以上の各年代で「外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する」が最多となっており、なかでも40歳代及び60歳代では約7割を占めています。また、20歳代から40歳代では「外国人に必要な情報を集め、多言語で発信する」や「日本人、外国人双方に、子どもの頃から異文化理解や多文化共生の教育を進める」が、50歳代以上の各年代では「外国人が母国語で困りごとの相談を受けられる体制をつくる」がそれぞれ上位に挙げられています。

単位：％

		合計	外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する	外国人が母国語で困りごとの相談を受けられる体制をつくる	日本人、外国人双方に、子どもの頃から異文化理解や多文化共生の教育を進める	外国人に必要な情報を集め、多言語で発信する	外国人の日本語学習を支援する	日本人と外国人が知り合い、交流を進める場をつくる
全体		830	59.9	37.3	35.4	32.5	31.8	27.7
年齢	20歳未満	9	33.3	22.2	44.4	44.4	22.2	33.3
	20～29歳	66	50.0	30.3	30.3	42.4	30.3	21.2
	30～39歳	82	58.5	37.8	37.8	37.8	31.7	31.7
	40～49歳	97	70.1	35.1	40.2	26.8	37.1	27.8
	50～59歳	129	63.6	45.0	33.3	38.8	37.2	29.5
	60～64歳	84	70.2	42.9	40.5	36.9	33.3	38.1
	65～74歳	189	65.1	41.8	37.0	36.0	33.9	26.5
	75歳以上	172	45.9	28.5	30.2	18.0	22.7	23.3

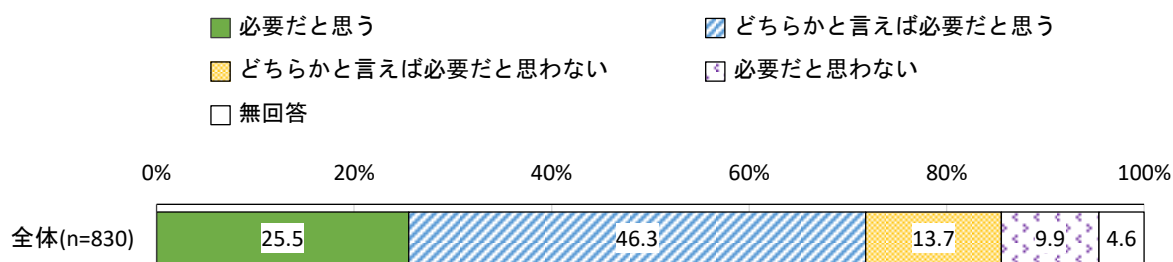
		合計	外国人への差別や偏見をなくすように、日本人へ意識啓発を進める	日本人が外国の文化や習慣について学ぶ場をつくる	外国人同士が互いに助け合うコミュニティをつくる	その他	特にない	無回答
全体		830	26.7	23.4	11.8	3.9	9.4	3.9
年齢	20歳未満	9	33.3	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0
	20～29歳	66	30.3	22.7	22.7	7.6	3.0	0.0
	30～39歳	82	20.7	25.6	11.0	7.3	7.3	2.4
	40～49歳	97	21.6	21.6	13.4	6.2	4.1	0.0
	50～59歳	129	25.6	24.8	14.7	5.4	7.8	0.8
	60～64歳	84	34.5	32.1	13.1	1.2	4.8	4.8
	65～74歳	189	33.3	26.5	12.7	1.6	11.6	3.7
	75歳以上	172	20.9	15.1	2.9	1.7	16.9	10.5

8 再犯防止に向けた取組みについて

(1) 罪を犯した人への支援の必要性

問26 あなたは、罪を犯した人への支援が必要だと思いますか。(○は1つだけ)

○罪を犯した人への支援の必要性は、「どちらかと言えば必要だと思う」が46.3%で最も多く、以下「必要だと思う」が25.5%、「どちらかと言えば必要だと思わない」が13.7%、「必要だと思わない」が9.9%となっています。



○年齢別でみると、「必要だと思う」は20歳未満で33.3%と他年代より高く、「どちらかと言えば必要だと思う」と合わせた割合は77.8%にのびります。20歳未満に次いで、65～74歳、50歳代において支援の必要性を感じる割合が高くなっています。

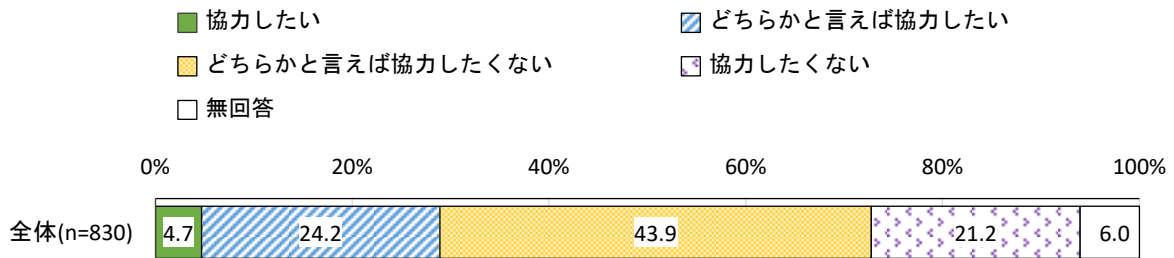
単位: %

		合計	必要だと思う	どちらかと言えば必要だと思う	どちらかと言えば必要だと思わない	必要だと思わない	無回答
全体		830	25.5	46.3	13.7	9.9	4.6
年齢	20歳未満	9	33.3	44.4	0.0	22.2	0.0
	20～29歳	66	25.8	39.4	13.6	19.7	1.5
	30～39歳	82	20.7	46.3	18.3	13.4	1.2
	40～49歳	97	22.7	48.5	17.5	9.3	2.1
	50～59歳	129	25.6	49.6	15.5	6.2	3.1
	60～64歳	84	23.8	48.8	15.5	9.5	2.4
	65～74歳	189	29.1	47.1	11.6	7.9	4.2
	75歳以上	172	26.2	43.0	9.9	9.3	11.6

(2) 罪を犯した人の立ち直りに協力したいと思うか

問27 あなたは、罪を犯した人の立ち直りに協力したいと思いますか。(○は1つだけ)

○罪を犯した人の立ち直りに協力したいと思うかは、「どちらかと言えば協力したくない」が43.9%で最も多く、以下「どちらかと言えば協力したい」が24.2%、「協力したくない」が21.2%、「協力したい」が4.7%となっています。



○年齢別でみると、20歳未満では「どちらかと言えば協力したい」が4割台半ばと多くなっていますが、20歳代では「協力したくない」が約4割を占め、30歳代以降の各年代においても「どちらかと言えば協力したくない」が最も多くなっています。一方、60歳代以降では「どちらかと言えば協力したい」が次第に増え、年齢とともにやや協力的になると見受けられます。

単位: %

		合計	協力したい	どちらかと言えば協力したい	どちらかと言えば協力したくない	協力したくない	無回答
全体		830	4.7	24.2	43.9	21.2	6.0
年齢	20歳未満	9	0.0	44.4	33.3	22.2	0.0
	20～29歳	66	6.1	18.2	34.8	39.4	1.5
	30～39歳	82	4.9	17.1	43.9	31.7	2.4
	40～49歳	97	2.1	16.5	50.5	26.8	4.1
	50～59歳	129	4.7	24.0	49.6	17.1	4.7
	60～64歳	84	2.4	22.6	51.2	20.2	3.6
	65～74歳	189	5.3	28.6	43.9	15.3	6.9
	75歳以上	172	6.4	29.7	36.0	15.7	12.2